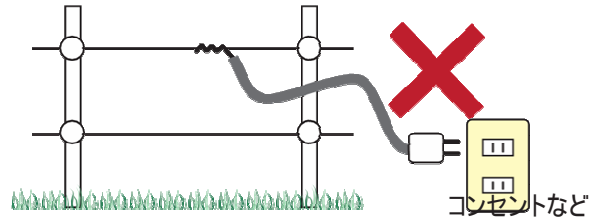


電気柵の安全基準について

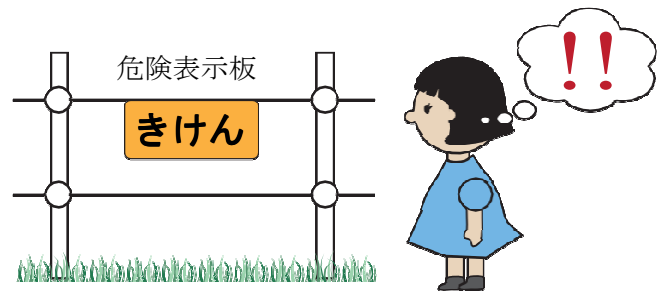
日本電気さく協議会では、法律に準じ、自主的に安全基準を設け「電気柵の安全使用」を呼び掛けています。

<設備基準の部>

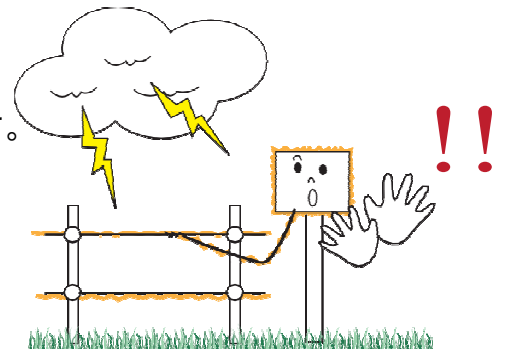
- ・ 商用電源（AC100V または 200V）をそのまま直接「さく線」に通電することは、多量の電気が流れ、感電死しますので非常に危険です。また、電気安全法上の法律違反ですので、絶対になさらないでください。☆☆



- ・ 人が容易に立ち入る場所では、必ず「危険表示板」を設置してください。☆☆
※法律上の義務です。

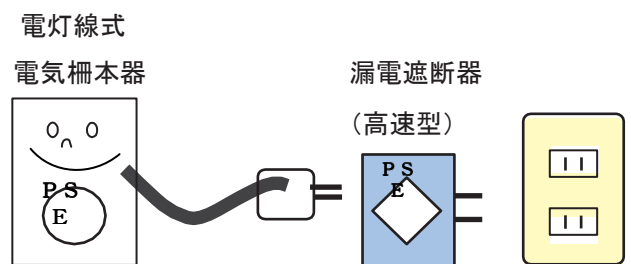


- ・ 雷発生時は、電気さく用電源装置や電気さく線に近づかないでください。落雷がなくても、高圧電気がさく線に影響することがあります。危険ですのでご注意ください。
- ・ 電気さくのアースは、近くに柱上高圧トランス（変圧器）もしくは他の電気機器のアースがある場合は、10m以上離してください。



<用品の部>

- ・ 商用電源（AC100V または 200V）より電源をとる場合、元電源に一番近いコンセントに「PSE マーク付き漏電遮断器（高速型）」を使用してください。
※法律上の義務です。☆☆



- ・ 商用電源（AC100V）より電源をとる「電気さく用電源装置」には、PSE マーク付きのものをご使用してください。☆☆

*上記は、日本電気さく協議会の自主規制であり、すべてが法律化されているわけではありません。

☆マークは国内の法律です。

★マークは IEC（国際規格）のガイドラインによるものです。

日本電気さく協議会「電気柵の安全基準について」より抜粋